

## 納涼祭開催!

今年の夏は過去に例を見ない程猛暑が続き、暑さで心身共に疲れがとれない方も多いと思います。そのような中、少しでも皆様が暑さを忘れ楽しくなれますよう、3日間にわたり納涼祭を開催致しました。

昼食にはホットプレートで焼いた餃子が登場しました。ノンアルコールビールやソフトドリンクで乾杯し、普段と違う雰囲気です。召し上がって頂きました。



昼食後はゲーム大会です。射的、輪投げ、お菓子釣り、ゴルフの5種目を行い、最後に順位を発表しました。1位の方にチョコバナナを贈呈して

それを皆さんに分けて頂き一緒に召し上がりました。お祭り気分です。皆様も楽しんで頂けているように見受けられました。



## 東西南北

「SDGs」ってなんだろう。最近マスコミでSDGs(エスディーズ)の単語がよく使われているが、これはいったい何のことなのか調べてみる。

「SDGs」とは、「誰一人取り残さない」を理念に国際社会が貧困を撲滅し、持続可能な社会を達成するための重要な指針として掲げられたもの。17個の目標と169個のターゲットからなる。貧困や教育、衛生、また環境保護や経済活動などさまざまなジャンルを設けている。

## 今月の看板



夏真っ盛りの今、猛暑の中元気に咲いている大輪のひまわりを今月は描いて頂きました。そのひまわりを見つめている女の子も描かれています。とても繊細なタッチで素晴らしい芸術作品で

では、17個の目標とはいったい何だろう。先程挙げたジャンルごとに紹介していく。

「貧困」のジャンルには1番「貧困をなくそう」や2番「飢餓をゼロに」がある。これらは、理念にもあげられている重要な目標といえるだろう。

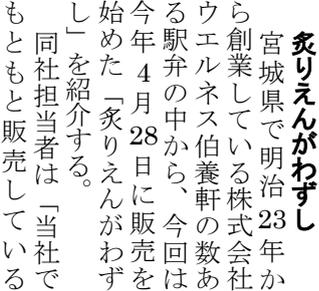
「教育」ジャンルには4番「質の高い教育をみんなに」がある。教育はその人の思想や、人生に大きく関わってくる。こちらにもまた重要な。

「衛生」には、3番「すべての人に健康と福祉を」や6番「安全な水とトイレを世界中に」がある。衛生環境を維持するための部分は生きるためには必須の取り組みといえる。

「環境保護」には、12番「つくる責任、つかう責任」、13番「気候変動に具体的な対策を」、14番「海の豊かさを守ろう」、15番「陸の豊かさを守ろう」がある。気候変動の影響が叫ばれているためか、もつとも多い4つの取り組みが組み込まれた。

最後のジャンル「経済活動」には、7番「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、8番「働きがいも経済成長も」、9番「産業と技術革新の基盤をつくろう」、11番「住み続けられるまちづくりを」がある。こちらも最多の4つ。環境保護と経済活動、どう両立していくかが肝となる。

## 駅弁紹介



これらを仕上げるだけでもかなりの時間をかけたのではないかと思います。さらに裏側まで描いて下さいました。

子供達に大人気のキティちゃん、ピカチュウがミルクと共に描かれています。熱中症対策に水分補給を忘れずという章さんの優しいメッセージが込められておりました。是非実物をご覧下さい。

同社担当者は「当社でもともと販売している『笹巻きえんがわずし』のおいしさをもっと知っていただくために、異なるバージョンにチャレンジした」と開発の経緯を話します。「カレイのえんがわの表面を一つ一つバーナーであぶり、香ばしさを加えた商品で、脂ののった

このように、SDGsとこの後の国際社会における重要な取り組みである。

気候変動や環境対策など、エコロジーに対する取り組みというイメージを、私は強く持つていましたが、もつと幅広い目標が設定されていることに驚いた。



ヨッチャン

葵は「心と身体のリハビリ」で元気な「笑顔」を作ります

◆編集委員会より「あおい通信」は皆様からの原稿を募集しています。係員・村上



# 葵の一コマ



カインズにはペットショップが入っており、なんと本物のフクロウが売られておりました。

今月のおでかけは猛暑が続いておりますので、涼しい屋内で楽しめる場所に外出しております。今月は「角川ミュージアム」や「カインズ」などに行きました。



とても特徴的な外観の角川ミュージアム



一つ目小僧と記念撮影



## 談話室

### 日本航空ジャンボ機墜落から38年

日航ジャンボ機墜落事故が起きてから今年8月12日で38年となった。昭和60年8月12日、お盆の帰省客などを乗せた日本航空のジャンボ機が群馬県上野村の山中に墜落し、520人も乗客・乗務員が犠牲になった。群馬県上野村にある墜落現場「御巣鷹山の尾根」には、遺族ら272人が慰霊登山に訪れた。以前はコロナの影響で参加者は4割前後減っていたが、今年はコロナ前と同じ水準に戻った。

ふもとの追悼慰霊式では墜落時刻の午後6時56分にあわせ、犠牲者数と同じ520本のろうそくに火がともった。高校時代の親友・富田麻里さん(当時21)を失った甲府市の会社員、若月明子さん(59)は、「風化するのが一番よくない。忘れられるのだけは避けたい」と話した。「自宅のタンスにワンピースをしまっている。ビニールに包んで、大切に。」こう話したのは、堺市に住む山岡清子さん(77)。山岡さんは時折そのワンピースを取り出しているが、娘2人との思い出を思い出す。

娘2人と一緒に出かけ、それぞれが気に入ったワンピースを買った。山岡さんが選んだのは、薄手のピンク色。「まだ若いし、似合うと思うよ」と2人に薦められた。それから1ヶ月ほどたった1985年8月12日。自宅にいと、横須賀市の親戚に遊びに行っていた娘2人から電話が掛かってきた。話を聞くと、キャンセル待ちの飛行機のチケットが取れた、ということだった。2人は喜んだ様子で、買ったばかりのワンピースを着て出かけていった。「この間買ったピンクワンピースを着て、迎えに来て」娘たちにはそ

う言われた。当日、その通りに着替えて大阪(伊丹)空港に向かおうとした時だった。「日本航空123便、レーダーから消える」テレビから速報が流れた。乗客乗務員リストに娘2人の名前があった。その日のうちに東京に行き、翌日、墜落現場の御巣鷹の尾根(上野村)に向かった。現場近くの体育館には蒸しあがった遺体ばかり運ばれてくる。娘を早く見つけてやりたい、という一心で若い女性の遺体を見て回った。1週間後に、まず見つけたのは長女の知美さん(当時16)だった。

一緒に選んだ緑色のワンピースを着ていた。抱こうとしたが、遺体に触れるのはだめだと言われた。そしてその1週間後、白いワンピースの切れ端が見つかった。それは次女の薫さんが着ていたものだった。それから38年。遺族の方々は事故で亡くなった大切な人を想い、今もたたくましく暮らしている。K・ドラゴン



### 利用者さんの紹介コーナー



#### 井上 昭美(火)

私は昔岡山県で暮らしていました。娘と息子がおり息子が大きくなってからこちらに越して来ました。

趣味は華道と造形で、どちらも10年くらい教室に通い習っていました。華道の方は師範の免許を持っています。娘も同じく華道

を始め、草月流で師範の免許を取りました。今はもう花を生けることはしていませんが、造形は暇さえあれば制作しています。葵では外出したり、トランプしたり、色々なイベントに参加したりと楽しく通わせてもらっています。



### 人気温泉地「鳴子温泉」

#### ◆有名温泉地めぐり◆

鳴子(なるこ)温泉は宮城県の最北端にあり、鳴子温泉郷(鳴子・東鳴子・川渡・中山平・鬼首)の5つの温泉地の中の一つである。あおい通信第219号でも記載したが、古くは奥州三名湯の一つとして数えられるほどの名湯である。歴史は古く、「続日本後記」に承和4年(837年)4月に鴻山(かたやま)が大爆発をして温泉が湧き出したと書かれている。温泉宿の開湯は江戸時代中期頃と伝えられ、湯治場として多くの人々に親しまれてきた。

温泉の泉質は多彩で、日本にある11種類の旧泉質分類のうち8種類が湧き出るといふ種類の豊富さ・源泉数の多さでは日本有数を誇る「いで湯」の里である。鳴子温泉は多数の施設が自家源泉を所有しているのので、湯めぐりをするのと異なる泉質を楽しむことができる。湯色も白濁、緑白、青色、茶褐色、黒色、無色などさまざま、天候によって日ごとに変化する時もある。湯の感触もさまざま、とろりと色々ある。一方、江戸時代後期に



鳴子公園から見た鳴子温泉の遠景

は木地師たちがろくろを使って作製した「鳴子こけし」をお土産や玩具として広め、その木地技術と共に発展してきた漆工芸品の「鳴子漆器」も有名だ。硫黄の香りが漂う温泉街を歩きながら「湯めぐり散歩」をしたり、「鳴子こけし」や「鳴子漆器」をお土産に見つけたりと何日もかけて楽しめるのである。